

新 生

令和四年九月 十日印刷
令和四年九月二十日発行

新生第七十四巻 第三号



東北新生園入所者自治会

新 生

令和四年九月 十日印刷
令和四年九月二十日発行

東北新生園の概況

所在地	宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1番地
土地面積	351,291㎡
建物延面積	22,740㎡
開 園	昭和14年10月27日
医療法承認病床	185床
標榜診療科	内科、外科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科
現在入所者数	男11名 女27名 計38名
職員定員数	136名（令和4年4月1日現在）
園 長	医学博士 横 田 隆

東北新生園交通案内図



第七十四巻第三号

— 令和4年8月3日 —



いつまでも
お元気で
いて下さいね。



【謝寄贈凶書欄】

令和四年 四月～六月

令和四年 四月～六月（敬称略）

十二、十五 日 觀桜会行事（抽選会）

四 月

《五
月》

※ 春季バス旅行（塩釜方面）

《六 月》

二日 熱気球係留搭乗体験
※ 第三十七回高松宮記念杯
近隣親善GB大会

※ 新型コロナウイルス感染防止のため、活動中止

紀伊國獻三	愛生	青松	菊池野	多磨	楓
写真集・追悼集	始良野	岡山県	熊本県	東京都	岡山県
	鹿兒島県	長島	菊池恵	多磨全	久光明
	星塚敬愛園	愛生園	大島青松園	生園	園

東京都 笹川保健財団

令和4年9月10日 印刷
令和4年9月20日 発行

癸
編
印

行集刷

東北新生園楓会(自治会)
楓 会 文 化 部
川 内 印 刷 株 式 会 社

〒989-4601

宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢一

東北新生園 電話 0228 (38) 2121(代)
東北新生園入所者自治会 電話 0228 (38) 3600

發行所



新生・第七十四卷第三号……………目次

表紙…「夏の思い出(睦ヶ池)」……………撮影 事務長 加藤 久弥

ご挨拶……………	看護師…前田 彩香…(2)
故郷について……………	事務助手…鯉川 翔太…(5)
園南側の竹やぶ伐採について……………	施設管理係…本 田 充…(7)
随筆「天童よしみシヨーを見て」……………	斎 藤 照 雄…(9)
寛仁親王と信子妃が植樹された「りんごの木」……………	宋 養 班…(11)

|| 新 生 文 芸 ||

詩……………	選 者…佐々木 洋一…(12)
短 歌……………	選 者…皆 川 二 郎…(14)
俳 句……………	選 者…山 田 桃 晃…(16)
川 柳……………	選 者…栗 石 隆 子…(18)
自己紹介……………	作 業 手…佐 藤 勝 彦…(21)
皆さんこんにちは……………	作 業 手…小 野 浩 二…(23)
宜しく願います……………	作 業 手…佐 藤 安 孝…(25)
四コマ漫画「三日坊主」「少年」……………	太 田 凜…(28)
園内日誌・謝寄贈図書……………	

ご挨拶

看護師 前田 彩香

二〇二〇年十二月から採用となりました、看護師の前田彩香と申します。出身は長崎県の県央に位置する諫早市で、ここに来る前は長崎の五島列島にて離島応援ナースとして勤務していました。採用当初は「長崎から!」と驚かれることも多くありましたので、現在に至るまでの職歴や離島のこと、初めての東北で感じたこと、現在の趣味についてお話させていただきます。

高校まで長崎で過ごしたのち、お隣の佐賀県にある国立病院機構嬉野医療センター附属看護学校を卒業。長崎に戻って国立病院機構

長崎医療センターに六年間勤めておりました。診療科は消化器内科と炎症性肺疾患を主とした呼吸器内科で、平均在院日数が院内で最も短いと表彰されたこともあるほど回転が速く入退院が非常に多い病棟でした。六年間のうち五年目の一年間は長崎の離島である五島列島の病院にアイランドナースとして勤務しました。アイランドナースとは、長崎医療センター・嬉野医療センター・長崎大学病院から三つの離島の病院へ毎年看護師が二名ずつを派遣することにより離島の人材不足を補うという制度で、七十二の有人離島を抱える長崎県特有の取り組みとなっています。そんな離島の多い長崎に生まれ育っているながら、アイランドナースとなるまで離島に一度も行ったことはありませんでした。初めての島生活で驚いたことは、なんととっても綺麗な海!長崎県の大部分が海に面しており、長崎医療セ

ンターもオーシャンビューであるため見慣れていましたが、全く別物でした。白い砂浜に遠浅で透明度の高い青い海。波の音を聴いているだけでも癒されるため、休日はもちろん仕事帰りにも頻繁に訪れていました。豊かな自然と新鮮な海の幸、五島牛、世界遺産に認定された教会群など魅力はたくさん。長崎へお越しの際はぜひ五島列島まで足を延ばしてみてください。

アイランドナースを終えて長崎医療センターに戻ってからも、離島の楽しさが忘れられず一年で退職。離島応援ナースとして二つの島で合わせて三年間勤務し、離島を満喫していたところで新型コロナウイルス感染症の発生。離島で陽性者対応を行いながら他の感染症について調べていた時にハンセン病を知り、縁あって当園に。

なんでわざわざ遠いところにとわれた方

もいらっしゃるかもしれません。離島では同じ長崎県内なのに方言や生活習慣など本土との違いがいくつもありました。県内でもこれだけ違うのなら離れた地域に行けばどれほどたくさん知らないことに出会えるのだろうと考え、人生経験のためにあえて遠い東北を選んだというのもここに来た理由のひとつです。方言、雪かき、水抜き、日昇・日没の早さ、物価、スーパーの品揃えなど、すでに多くの違いと初めての経験がありました。方言はだいぶ慣れたつもりですが、今も苦労しているのは食べ物と冬の寒さ。長崎の醤油は甘く、冬の平均気温は九度前後のため氷点下を初めて経験。初めてダウンを買いました。逆に嬉しいことはガソリンの安さ。長崎のガソリンは全国的にも高く、こちらより二十円/L程度。こちらの安さに感動しました。コロナの影響でまだ観光はできていませんが、

日々の生活でいろんな違いを見つけて楽しむ
つつ、いつか観光できる日を心待ちにして
おります。

趣味はこれまでカメラ・旅行・釣り・シー
カヤック・SUPなどアウトドアが多かった
のですが、最近は専らプロ野球観戦にハマっ
ております。高校時代からのホークスファン
ですが、たまにテレビや球場で観戦する程度
だったのがなぜか九州を離れた途端に恋しく
なり、今ではネット配信のサブスクに加入し
て全試合観戦するほどの大ファンとなりまし
た。楽天ファンの皆様、お手柔らかに願ひ
します。

まだまだ慣れないことも多いですが、先輩
方にご指導いただきながら日々精進して参り
ますので、どうぞよろしく願ひします。

故郷について

事務助手 鯉川 翔太

こんにちは。昨年の四月一日から東北新生
園でお世話になっております。庶務課会計班
システム係の鯉川です。

こちらに勤めるようになってから早くも一
年半が経ちますが、直接入所者様とお話しす
る機会は多くありませんので、これを機に覚
えて頂きますと光栄です。

私が生まれたのは秋田県の角館町です。角
館には多数の武家屋敷が存在し、その古風な
佇まいからみちのくの小京都とも呼ばれてお
ります。武家屋敷通りには国の天然記念物に
指定されている一六二本のシダレザクラがあ



り、武家屋敷通りを華やかに彩っております。
また、シダレザクラの他にも、桧木内川堤
には約二キロメートルに渡って続く四百本も
のソメイヨシノの桜並木があり、国の名勝に
も指定されております。毎年春になると開催
される桜まつりの期間には夜になるとライト
アップされた桜が楽しめます。

毎年九月の初め頃には、角館神明社と成就
院薬師堂の祭典に合わせて行われる角館祭り
のやま行事があります。この祭りは江戸時代
中頃から神仏への信仰とともに地域の繁栄、
豊作、無病息災を願ひ、当時の町割りと武家
屋敷、自然が今も残る角館で脈々と受け継が
れてきました。

一九九一年（平成三年）に角館祭りのやま
行事として国の重要無形民俗文化財に指定さ
れ、二〇一六年（平成二十八年）には全国三
十三件の山・鉾・屋台行事のひとつとして、

ユネスコ無形文化遺産に登録されました。十八の地区から出される武者人形や歌舞伎人形を飾った大型のヤマを江戸時代から残る街並みで引き回します。ヤマにはおやま囃子の囃子が乗り、囃子に合わせて手踊りが舞われます。ヤマは角館神明社、成就院薬師堂を参拝して囃子と踊りを奉納します。

祭り期間中は、引き回す山の道筋が決まっていなのがこの祭りの特徴です。参拝の間や道筋は各ヤマがそれぞれ独自に決めます。そのため城下町の狭い道路でヤマ同士が頻繁に鉢合わせとなり、その都度通行優先権めぐり交渉が行われます。交渉が決裂するとヤマのぶつけあい「ヤマぶつけ」が行われます。おやま囃子の独特な音色と職人が意匠を凝らした武者人形・歌舞伎人形が独特な空間を作り出し、凄まじい迫力と共に神秘性を感じさせます。

園南側の竹やぶ伐採について

施設管理係 本田 充

新生園の敷地は、一〇万坪を超える広さを有しております。その中には当然ながら入所者の方々の居住空間を含めた医療を提供する医療施設や、給食・洗濯・ボイラー・売店・郵便局などの供給施設、管理棟・職員更衣棟・渡り廊下などの管理施設にあたる建物の他、グラウンド・公園・池・教会があり「一つの集落」と言っても過言では無いほどの機能施設が存在しております。

前述した建物施設等以外の敷地の多くは立木竹や以前耕作していた畑が、現在未利用地となり草木等が茂っている所もあります。除

古くから伝わる伝統工芸品も角館にはあります。それが樺細工です。樺細工とは山桜の木肌を磨いて作る工芸品です。今から二百年以上前に修験者である御処野家（北秋田市合川）より伝承され、武士の手内職として始まりました。以来、多くの困難を乗り越え現在に至っています。その製品は時代により変遷があり、初期には印籠や胴乱（煙草入れ）を多く作り、最近ではその伝統的な技法を最大限に活かす茶筒を中心に、様々な器が作られています。武家屋敷通りには角館樺細工伝承館があり樺細工の歴史を学べ、伝承館の一角の樺細工実演室では、現代の名工・伝統工芸士といった職人が熟練の技を披露しています。最後に業務にはまだ不慣れな部分がありますが、東北新生園の職員として入所者様の生活を陰ながら支えられればと思っておりますので、よろしくお願い致します。

草は専門の業者や当園木工場及び福祉作業職員等の献身的な協力により整備が行き渡っております。ただしその中で園南側に自治会発会五〇周年植樹エリア付近に竹やぶがあり、以前は数年ごとに伐採していましたが、近年の異常気象から竹やぶ自体が急成長していたため、今回植樹エリアの景観保持を目的とし竹やぶの伐採を実施しました。

五月二十三日より、木工場及び福祉作業職員により天候を見ながら最大週四日作業を実施しましたが、最初は過去数年周期で実施していたこともあり職員側もすぐに終わるだろうと安易に考えていたところ、思いのほか竹やぶが急成長したので、伐採にはこれまでに上の約二ヶ月間も期間を要しました。出稿時現在、伐採作業は終了し処分作業を実施中ですので、第三号の発刊時には全てが終了していることと思われれます。メープル三階の一角

からは、伐採され見晴らしが良くなった植樹エリアが展望可能と思われます。

作業に従事した職員の方々に感謝するとともに、今後も入所者の皆様がより良い生活を送れますよう環境美化に努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【5月23日】



【8月24日】



随筆

「天童よしみショーを見て」

斎藤 照雄

私はある方から天童よしみショーのチケットを三枚頂いた。友人のWさんに電話をし、誘うと快諾してくれた。車を運転してくれる友人Iさんも誘うと快諾。

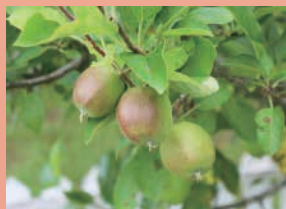
当日は九時半頃に園を出発した。園を出ると熊狩という二又十字を八沢の方に進み、しばらく車に揺られ、また二又十字を左に曲がると、栗原文化会館が見えた。新生園でお馴染みの佐々木魚屋さんの前を通り、近くの食堂で昼食を済ませた。その後、天童よしみショーの受付の列に加わった。

午前十一時開門。階段を上り、二階についた。渡り廊下をしばらく南の方向に歩くと、中央あたりに階段があり、両側に観覧席があった。私たちは真ん中の右側に陣取った。初めて栗原文化会館に来たが、どこかで見た事のある所だと思った。それは宮城県民会館（現在の東京エレクトロンホール宮城）に似ていた。設計者が同じなのかと考えた。

会場を見渡すと大きなキャビネットが両側に二つ、ステレオ装置が施されてあった。

間もなく天童よしみショーが開幕した。司会者が「みなさん、こんにちわ、ただいまから天童よしみショーを開催いたします。我がティチクの天童よしみは、道頓堀人情が大ヒットしたので、そのキャンペーンで当地を訪れました。天童よしみの経歴ですが、幼い頃から歌が好きで、十人勝ち抜きショーという番組で九人勝ち抜き、十人の挑戦を受けた

栄養だより



貞明皇后「高松宮をしのぶ会」において、寛仁親王と信子妃が平成9年11月7日に植樹されました「りんごの木」に、今年はたくさんの実がみのりました。今回摘果（間引）した実を甘く煮て、ヨーグルトと一緒に召し上がりいただきました。



折、足を骨折し、松葉杖といった痛々しい姿で登場。そして十人勝ち抜いた根性の持ち主。（そこで大きな拍手が起こった。）

この小さな体からは想像も出来ない声量豊かな歌声で浪花のど根性を宣伝している。浪花ど根性を宣伝している芸能人は沢山いたが、天童よしみもその中の一人です。

天童よしみはショーで道頓堀人情を始めとし、先輩歌手のヒット曲数曲を歌い、バンド演奏に持ち歌の暴れ玄海などを数曲歌い、ファイナーには道頓堀人情を歌い、二番目はバンド調にアレンジ、三番は元のテンポに戻し、さよなら、さよならとステージ上は総立ちとなり、天童よしみショーは幕を閉じた。

かねがね天童よしみが好きで曲を聴いていたので、演奏を見て十分満足し帰路に着いた。



詩

佐々木 洋 一 選

◇ 入 選 ◇

《菜の花と蝶々》

斎藤 照 雄

私は学び舎に
群れていた
蝶々の一頭に
心を寄せ
「おはよう」
「こんにちは」から
親しくなり

交わりを持つ事が出来た

その当時流行っていた
橋幸夫の潮来笠
互いに好きで
意気投合し
デートで歌ったり
踊ったり
楽しい日々が続いた

時が過ぎて
学び舎を巣立つ頃となった
蝶々が飛んできて
ねえ、あの歌うたって
私、記念に踊りたいの
菜の花が歌い
蝶が舞った

そこで一句
潮来笠菜の花歌い蝶々舞う

教えてくれた

私は蝶々達の前途に
幸せあれと祈った
空も

蝶々達の門出を祝し
晴れ渡っていた

【選 評】

《菜の花と蝶々》

斎藤 照 雄

若い時分の恋のあれこれを菜の花と蝶々にたとえたもの。淡く浮き浮きした様子が目に見えるようです。

斎藤さんの作品には、いつも前向きに生きようとする力を感じます。詩を書くことで、心の内から生きる力を突き動かしているのかもしれない。

あら、素敵
私、頂くわと
手帳に記した
懐に入れようとした時
ちよっと待ってと
学び舎を巣立つ記念に
包みを用意しました
蝶々はその包みと歌を懐に
学び舎を去り
落ちついた頃に
会いに来ますから
それまで元気でいてねと言
仲間のいる園に帰って行った
今日は学び舎を巣立つ日
果たして元気に巣立ったか
気にしていたら
担当看護師が来て
先程元気に巣立ったと

短歌

皆川二郎選

◇入選◇

柏木 梅

歳老いてますます痩せる夫を見て弁当のほか菓子パンそえる

【選評】

年齢を加えるごとにますます痩せてくる夫を見て、食事のときに弁当のほかに菓子パンを添えるという妻の優しさが感じられ、ほのぼのとした夫婦の有り様が感じられる一首である。上の句と下の句が照応してまとまっており、実感

がある。齢を取って老いるほどに太るより健康なのかもしれない。

今野 モトイ

友の作る獅子唐揚げのお裾分け苦みピリりと目も覚めるほど

【選評】

友人の手作りされた獅子唐揚げのお裾分けにあずかり、食したところ、苦みがピリリとして目が覚めるほどであった。一首の実感を素直にそのまま表現されており、心に残る一首となった。ピリリと苦かったけれども美味しく食べられたことであろうと感じさせる。人間関係まで想像させ実感がある。

小 林 喫 茶

痛む膝心配なしと強がるも診察券を探す引き出し

【選評】

膝を痛めている作者が、話の中で「心配ない」と強がつては見たが、その相手のいないところで引き出しの中の診察券を探している。その様子が想像される一首であり、相手に心配かけないとする作者の思いが感じられる。やさしい人間性と微妙な心理状況も見えるようである。

◇佳作◇

菊 水

朝起きて疲れ取れざるこの身にて皆に会はむとエンジン回す

柏木 梅

花瓶には今朝手折りたる藤の花水吸えぬまま痛ましく枯る

側溝に生えしクレソンせき止めて土砂降りの雨道に流れぬ

今野 モトイ

散歩路に介護員さんネジバナを摘みて花瓶に活けてくれたり

俳句

山田桃晃選

◇入選◇

心眼に桜咲かせてまず一献 斎藤照雄

【選評】

心に映えるのが心眼、どこまで澄みきった心の美しさがあり咲かせてと言いつつ切つて改めて一献。後は何も言わずとも生きる喜び、じつくりと味わつて下さい。

いずこから匂い漂う栗の花 斎藤照雄

【選評】

栗の花と云うとやはり匂いが先に来る。いずこからと言うと風そのものが匂いだ。息のつくたび鼻がむずかゆくなり全身がけだるくなる様が見える秋の實のりが楽しみなのだろう。

新米を案山子とやらに供えけり 斎藤照雄

【選評】

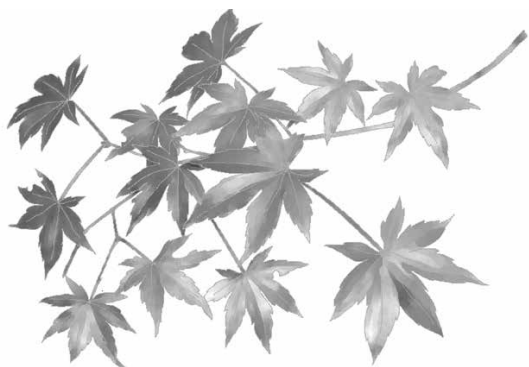
新米の二句があり案山子と新米季重ねであるが切つても切れない赤い糸のつながりが有る「とやらに」は心のこもった御礼と感謝の念。今どき案山子は珍しい景、新米よ

案山子よ有難うが下五に有る。

◇佳作◇

斎藤照雄

藤の花形作つた髪飾り
菅笠や母お茶摘みにどの辺り
はっぴ着て母と踊つた盆踊り
思い出にスイカはお張る額寄せ
新米をお膳に供え膳囲む



川 柳

雫石隆子選

◇ 入 選 ◇

《天位》

斎藤照雄

メスキラリキラリ私に挑戦状

【選 評】

メスは外科手術の用具。キラリキラリと光るメスが、患者の心を揺さぶる。下五の措辞は、メスの挑戦を受け止める作者の思いであろう。

《地位》

千

歩

届かないマスクの下の叫び声

【選 評】

コロナ禍も第七波になり、感染者が急増している。マスクの必携は当然続きそうである。当分届きそうもない、マスクの下の叫び声。

《人位》

小林 喫茶

請い願う暑さ値上げも彼岸まで

【選 評】

「暑さ寒さも彼岸まで」を引用した作品。寒さの代わりに「値上げ」を持つてきたところが現代風。値上げ続きの世相を穿って時事吟に仕立てている。

◇ 佳 作 ◇

斎藤照雄

復員の父を涙で母迎え

哺乳瓶抱いてすやすや子は眠り

耳足手腹にリンパにメス暴れ

小林 喫茶

候補者はこれから実ると頭垂れ

節電を理由に出かけるソロキャンプ

千

歩

短冊の願い届かぬ誤字脱字

星屑が密に見えます天の川

大 平 尚 拓

側溝に土がたまりて花ひらき

生暖かい風をよこすか扇風機

長 沼 蓮 花

笑い声消えてさびしや通学路

夫より役に立ちます乾燥機

入所者の笑顔はじけた気球です

年一度逢えるおり姫うらやまし

各センター協同作品



自己紹介

作業手 佐藤 勝彦

昨年の四月から福祉室・作業手としてお世話になっております佐藤勝彦と申します。

私の出身は南三陸町志津川です。縁あって登米市津山町にお世話になっていきます。南三陸町にいた頃は木材関係の仕事に就いていました。忘れもしません。十一年前の三月十一日、午後二時四十六分地震が起き、その三十分後に津波が来ました。私は高い所で仕事をしていて津波に流されずにすみました。工場は全部流され跡形もなく消えていました。従業員は全員無事で、会った時は手を取り合って喜びました。その後、家族を探しに山を越えて家のある方に歩いて行ったら、家が無く

なっていました。その近くを探して見たら近くの高台に避難していました。家族は全員無事でした。見つけた時は涙が止まりませんでした。

一時避難場所として、ベイサイド・アリーナと言う多目的ホールに避難しました。その場所は、後に物資や自衛隊・警察・消防の本部となり、私たちも手伝いながら避難生活を約一か月半近く生活していましたが、物資が多くなり保管場所が狭くなったため、「別の場所に移動して下さい」と言われ、それに従い地元を離れることになりました。

紹介された避難所は登米市の嵯峨立と言う所で、前に学校だった場所を避難場所として提供してもらい、そこに住むことになりました。嵯峨立の人たちは、私たち家族に心温まる出迎えをしてくれて、大変安らぎを感じました。現地の人たちと一緒に、色々な所に連れて行ってもらったり、色々な遊びをしたり

しているうちに少しずつ震災の痛みが和らぎました。嵯峨立の人たちには、感謝しかありません。

また、お世話になっている時に登米市の方から、東和町の促進住宅に登米市に避難されている南三陸町の人が入居出来ると言われ、転居することになりました。仮設住宅の連絡もなかなか来ない中で登米市から連絡をいたしたことは、とてもありがたかったです。

促進住宅入居後、それまで仕事をしていた会社が再開のめどが付かず、一緒に住宅に入居した人に、「一緒に働かないか」と誘いを受けてました。その方は南三陸町で建設会社勤めていて、人を探していました。働くことに決めましたが、今までの仕事と全く違うため苦労の毎日でしたが、仕事が出来る喜びで、その仕事を紹介して下さった友に感謝しています。

仕事の内容は、津波で壊れた防潮堤を専門に直す作業でした。津波の力は人間が何年

掛けて作った物を一瞬にして壊し、作業中も津波の恐ろしさが頭の中に残り続けました。建設会社には九年近く勤める中、色々な資格を取らせて頂き本当に感謝しかありません。私も六十歳になり、今までいた会社を定年退職になりました。

促進住宅には七年ぐらいお世話になり、山町には親戚の紹介で中古の家を買うことが出来、近所の人たちもみんな親切な方々で大変幸せです。

仕事を探しに、ハローワークに毎日のように足を運び仕事を探しましたが、年齢が高いため、なかなか難しいです。何社か合う仕事を見つけましたが、年齢でなかなか見つからない中、東北新生園の募集を目にし、紹介してもらい無事入る事が出来ました。

津波で亡くなった人の分まで、新生園に居る人たちと力を合わせて、仲良くしていきたいと思っています。

今後とも宜しくお願い致します。

皆さんこんにちは

作業手 小野寺 浩二

昨年の四月より、お世話になっております作業手の小野寺浩二と申します。

私は、旧栗原郡築館町に生まれ、現在は廃校となっていました。玉沢小学校を卒業しました。玉沢小学校は新生園から北に数キロ行ったところにあり、校庭には樹齢三〇〇年を超える大きな松の木がシンボルとなっていた学校です。友達は皆、玉沢地区でしたので子供の頃から新生園の周辺で釣りをしたり昆虫採集をしたりと野山を駆け巡っております。

今回新生園に採用していただき、三十数年

振りに新生園の風景を見た時、子供時代の記憶が甦り、とても懐かしく何だか不思議な気持ちになりました。つい先日園内を徒歩で移動していた時、あの辺りを自転車で走ったなあと懐かしく思いました。元作業手の先輩方も玉沢小学校出身の方が多くおられ、尚更安心感と親近感があります。

私は、これまで橋梁工事や道路の舗装工事といった建設業に従事してきました。橋梁工事とは橋を架ける仕事です。私の行っていた仕事は、クレーン車でコンクリートのブロック桁を吊り上げ設置したり、足場の組立等です。高所作業が主で、山と山の間の谷に橋を架けるといふ本当に命懸けの仕事でした。

道路の舗装の仕事は、アスファルト合材をダンプで運び、フィニッシャーという機械に入れ敷均す仕事です。アスファルト合材の温度は一八〇度と高く、冬は温かくて良いの

ですが夏は暑くて大変な仕事です。

新生園で作業手としての業務は慣れない事が多く大変ですが、先輩方の指導、アドバイスの下、今までの経験を活かして日々奮闘中です。中でも一番苦労したのは、クリスマスイルミネーションでした。高所作業車を使い壁にイルミネーションを設置し、その後に配線するのですが、配線の数がとても多く頭がこんがらがってしまい、思う様に作業が出来ませんでした。上司や先輩がイルミネーションの取り付け日程を例年より余裕を持って長めに予定して下さったので、気持ちにゆとりを持って安全に取り付け作業ができました。

取り付け作業中に入所者さん、介護員さんと笑顔で挨拶を交わす時があり、普段なかなか入所者の方々と接する機会はありませんが「ご苦労さん」と声を掛けて下さるので、そ

ういう時はとても嬉しくなり、疲れも吹き飛びました。

取り付け作業が進み、段々とイルミネーションの全体像が見えてくると、その規模に圧倒されました。点灯式が終わり全点灯したイルミネーションを見た時は、本当にこれを自分達が作ったのかと感慨深いものがありました。やはり、皆で一つの目標に向かい何かを完成させるという事は、職種が違って同じ感覚なのだと再認識しました。

これからも入所者の皆さんの生活の一助となれるように先輩方に指導を仰ぎ、日々精一杯頑張っていこうと思います。これからも宜しくお願い致します。

宜しく願います

作業手 佐藤 安孝

令和四年一月より作業手として勤務しております佐藤安孝と申します。

勤め始めた頃は、一夜にして広い敷地が雪で白一色の景色に変わったことが印象に残っています。また、四月中旬から五月にかけて地内の桜が開花した時の景色は素晴らしいものでした。

出身は登米市の東部南三陸町と接する位置にある津山町です。家の近くには山林や水田があり、夜になるとカエルの鳴き声が響いています。

家の周辺にある施設を紹介したいと思っています。

す。神の使いではないかと話題になった四ツ目のカモシカが撮られた柳津虚空蔵尊があります。日本三大虚空蔵尊のひとつであり、奥州屈指の霊山・霊場の祈願寺として数多くの人々の信仰を集めています。

また、日本三大不動尊・国指定重要文化財である横山不動尊には、弘法大師作と伝わる国指定重要文化財の木造不動明王坐像があります。この一帯は南三陸金華山国定公園に指定されている他、境内の池に生息する天然記念物のウグイも見どころのひとつです。

もう一つの施設としては、国道四十五号沿いに位置する道の駅津山（もくもくランド）です。この施設は木工体験が楽しい水と緑のテーマパークです。また、屋外には親子で遊べる木製の遊具もあり多くの家族連れでにぎわっています。イベント広場なども整っています。多くの人に楽しんでいただいています。

木に触れて、遊んで、交流を深め合う木のお城をぜひ訪ねてみてください。

伊達小次郎君（だてこじろうぎみ）の墓があります。仙台藩祖伊達政宗の実弟の小次郎の墓です。小次郎を後継者として支持し、陰謀を企てた母の身代わりとなって十三歳の時に政宗に手打ちにされました。小高い山林の中にあります。近くに來た際は是非お参りしてください。

私の趣味についてお話しします。温泉に入ることが好きで、日帰りですがよく温泉に出かけていました。家から近い温泉は山深くにある風情ある石巻市の追分温泉もよく行きましたが、一関市の西側に位置する栗駒国定公園内の真湯温泉や大崎市の鳴子温泉も好きでよく行っていました。最近はコロナの影響で足が遠のいていますが、雪を見ながら入る露天風呂が最高でした。以前のように自由に行動

できる日が早く来ることを願っています。

もうひとつの趣味としては、色々な美味しいものを食べることです。ラーメンやカレーライスなども何軒か行きましたが、好きな味が見つかるとその店一軒に通い詰めています。今でも時々行く店が一軒あります。もう十年以上通っている店ですが、山形県にある蕎麦屋さんです。お品書きは「もり蕎麦」しかありませんが、少し硬めの黒っぽい感じの麺がよい味を出しています。大根おろしを使用したつゆに付けて食べますが、大根の辛味がほどよく効いて食が進みます。箸休めに出される山菜の漬物も美味しいです。蕎麦を三杯・四杯とおかわりをしてお腹いっぱいになるまで食ってきます。回りには六杯・七杯とたいらげている方もおりました。

温泉や食べ歩きに行く時の交通手段は車です。なぜかと言うと時間を気にせず自分の

ペースで行動できるからです。また、行き帰りの途中でふらっと寄り道をして、道の駅や産直で地元の土産を見たり食べたりすることも楽しみのひとつになっています。

栗駒山の春の残雪や秋の紅葉を見ながら、バイクでとことこのんびり走ることもあります。

東北新生園にお世話になって九ヶ月が過ぎようとしております。これからも一日一日を大切に仕事に励んで参ります。宜しくお願致します。



四コマ まんが

作・太田 凜

